

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドждド立ててく3

国立市立国立第七小学校

平成27年7月9日 NO.41 (241)



花ちゃん 「うわあー！いろいろなお魚^{さかな}がたくさんしますね。」

オー君 「これはね、3年生のKくん、Mくん、Tくん、Sくん、Oさんたちが
つかまえた魚^{さかな}だそうだよ。」

モンタ博士 「よく観察^{かんさつ}しやすいように、シャーレ^いに入れて定規^{じょうぎ}もいっしょにして撮影^{さつえい}した
んだよ。そうすると、大きさ^{おお}や形^{かたち}のちがいなどもよくわかるだろう。」

花ちゃん 「そのとおりですね。どんな名前^{なまえ}の生き物^{いもの}なのですか。」

オー君 「まず、真^まん中^{なか}の大きいのはドジョウだね。それから、小さいハヤもいるし、
オタマジャクシもいるぞ。」

花ちゃん 「モンタ博士！この生き物^{いもの}はどこで採^とったのでしょうかね。」

モンタ博士「そうだね。どこで採ったのか知りたくてね、K くんにおしえてもらったんだ。」

オー君 「どこだったのですか。」

モンタ博士「下の地図を見ればわかると思うけど、府中用水というところだよ。この前
2年生が生活科のお勉強で行った所だね。」

オー君 「あ！わかった。あそこには、いろいろな生き物がいっぱいいるんだ。」

花ちゃん 「つまり、水のあるところには、たくさんの生き物でいっぱいいるということ
ですね。水がないと生き物は生きられないということですね。」

モンタ博士「そのとおりだね。国立七小のまわりは、国立市全体から見ても生き物が多い
所だと思うよ。国立駅の方では、これだけたくさんの生き物はいないね。
国立七小のまわりは、生物の多様性が高いといえるね。」

オー君 「え！何ていったの。『たようせい？』」

モンタ博士「生物多様性には、『種の多様性、生態系の多様性、遺伝子の多様性』とあるん
だ。むずかしいお話になってしまうので、またそのうちお話しするね。」

オー君 「ともかく、生き物がいっぱいいるって、素晴らしいことですね。」

モンタ博士「でもね、遊ぶ時には十分に注意して下さい。浅いといっても川は川だよ。
気をつけて遊ぶようにしようね。」

花ちゃん 「はい、わかりました。気をつけて遊びます。」

モンタ博士「それからね、
どんな生き物にも
いのち
命はあるだろう。
ちい
小さな生き物にも
おお
大きな命、大切な
いのち
命があるんだよ。」

花ちゃん・オー君 「わかりました。
つかまえた生き物
を大事にします。」

